

エコアクション21環境経営レポート



2024年4月～2025年3月

2025年6月2日発行

友新精機株式会社

目次

1	組織の概要	1
2	対象範囲	2
3	環境経営方針	3
4	実施体制	4
5-1	環境経営目標(2022~2024年度)	
	①エネルギー関連分野	5
	②エネルギー関連分野以外	6
5-2	環境経営目標(2025~2027年度)	
	①エネルギー関連分野	7
	②エネルギー関連分野以外	8
6	環境経営計画	9
7	環境経営目標に対する実績値と評価	
	①エネルギー関連分野	10
	②エネルギー関連分野以外	11
8	環境経営計画の実施結果	12
9	環境経営目標と計画の結果と評価、並びに次年度の目標・計画	13
10	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	14
11	代表者による全体の評価と見直し・指示	15

1 組織の概要

事業所名	友新精機株式会社		
代表者名	代表取締役社長 酒井 康孝		
所在地	製造部：〒473-0934 愛知県豊田市前林町立塚12番地5		
	工機部：〒473-0934 愛知県豊田市前林町立塚22番地		
敷地面積 建物面積	敷地面積：全社：16,454m ² 建物面積： 製造部 7,023m ² 工機部 1,604m ²		
設 立	1967年10月		
資本金	1,000万円	従業員数	94名
売上高	2021年度（第54期）：260千万円 2022年度（第55期）：274千万円 2023年度（第56期）：337千万円 2024年度（第57期）：417千万円		
主要設備 (当年度末現在)	製造部 旋盤：49台、マシニングセンター：41台、コンプレッサー：9台 工機部 ワイヤーカット：3台、マシニングセンター：4台、コンプレッサー：3台		
事業内容	自動車部品の製造及び金型部品の機械加工 製造部：自動車部品 主にフライホイール 工機部：金型部品 主にプレス、樹脂、アルミダイカスト型部品		
主要取引先	株式会社 アイシン アイシン高丘株式会社、岡谷鋼機株式会社		
環境管理責任者	製造部長 吉沢 保文		
環境活動事務局	製造部 大久保 侑亮		
URL	http://www.yushinseiki.co.jp/		

2 対象範囲

認証登録範囲	製造部、工機部、管理部
対象期間	2024年4月～2025年3月
レポート発行日	2025年6月2日

3. 環境経営方針

環境方針

当社が自動車部品及び金型部品の製造を行うに当り、環境活動に関する法規制の遵守をはかり、自主的にかつ積極的に環境汚染の防止活動を展開します。また、自社内での環境負荷を低減するために目標を定め、計画的に実施及び見直しを行い、システムの運営を展開します。

1. 自社内での環境影響を把握し、その負荷低減を進める
 2. 環境関連法規及びその他の環境関連要求事項・条例などの遵守をする
 3. 省資源・CO₂削減及び廃棄物削減・再利用の拡大を図る
 4. 化学物質の管理に取り組む
 5. 環境にやさしい工程の見直しに努める
 6. 社員一人ひとりへの環境保全の意識付けを行い全員での活動を展開する
 7. 周辺地域との交流を深め、地域の美化活動に積極的に参画すると共に、自社内の環境保全を実施する
- 本方針について、全従業員への周知徹底を図ると共に、社外への開示も実施します。

改定 2017年10月1日

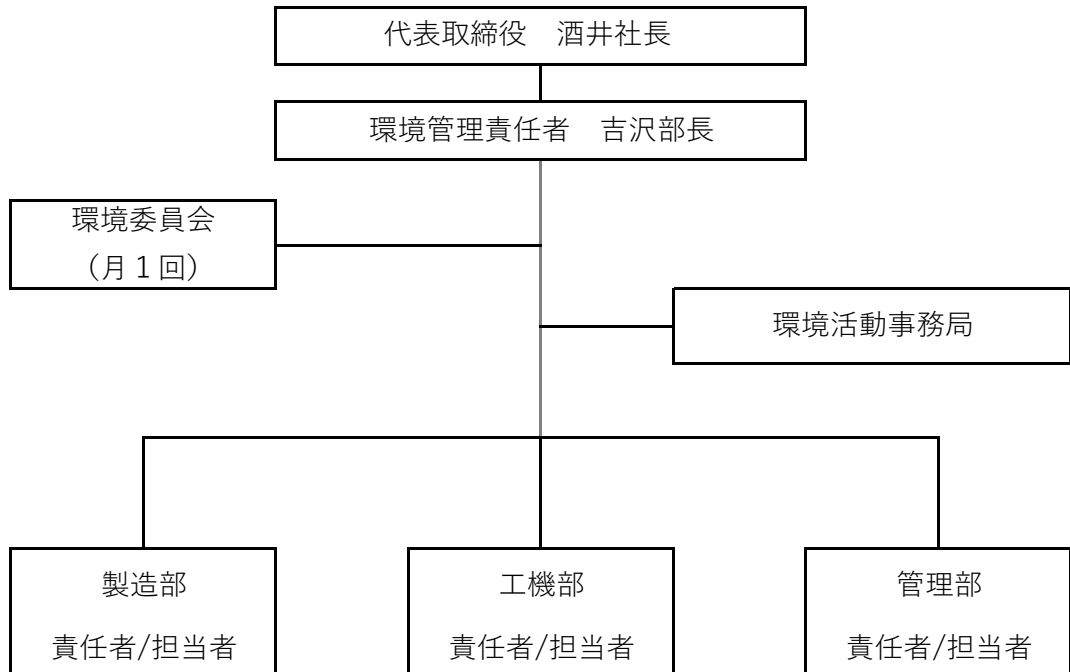
作成 2008年9月1日

友新精機株式会社

代表取締役 酒井康孝

4. 実施体制

エコアクション21実施体制図



担当	役割、責任および権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の作成 ・環境管理責任者の任命 ・全体評価の見直しと指示 ・環境取組上の経営資源の準備
環境管理責任者 環境活動事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21取組計画を作成進捗状況確認 ・環境経営レポート作成 ・各種環境負荷データの整理 ・環境関連苦情など外部との窓口 ・緊急事態訓練の計画と実施 ・教育訓練の実施と管理
各部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門における計画の遂行管理 ・実施状況の確認、記録管理
各部門担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・部門計画の実施 ・自己の役割の認識

5-1 ①環境経営目標（中期目標含む） ーエネルギー関連分ー

作成日：2025年6月2日

今までの実績データ等を加味し2021年度を基準に2022年度から2024年度は取組む。各年度は4月～3月とする。

取り組み項目		単位	基準年度 2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
削減率		%	-	前年度比-1%	前年度比-1%	前年度比-1%
二酸化炭素排出量の削減						
CO ₂ 総排出量 全社	総量	kg-CO ₂	1,425,487	1,411,232	1,397,120	1,383,149
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	582	576	570	565
電気使用量 製造部	総量	kWh	2,841,126	2,812,715	2,784,588	2,756,742
	原単位	kWh/百万円	1,093	1,082	1,071	1,060
電気使用量 工機部	総量	kWh	427,858	423,579	419,344	415,150
	原単位	kWh/百万円	165	163	161	160
ガソリン使用量 製造部	総量	ℓ	415	411	407	403
	原単位	ℓ/百万円	0.160	0.158	0.156	0.155
ガソリン使用量 工機部	総量	ℓ	3,384	3,350	3,317	3,284
	原単位	ℓ/百万円	1.302	1.289	1.276	1.263
オートガス使用量 製造部	総量	kg	7,380	7,306	7,233	7,161
	原単位	kg/百万円	2.838	2.810	2.782	2.754

* 電力の排出係数は2019年度中部電力の調整後係数 0.426kgCO₂/kWhとします。

* 2021年度の売上高は2600百万円です。

* オートガス=LPG(気体)は少量のため、実績値は把握しますが目標値管理はしません。

5-1 ②環境経営目標（中期目標含む） －エネルギー関連分以外－

作成日：2025年6月2日

今までの実績データ等を加味し2021年度を基準に2022年度から2024年度は取組む。各年度は4月～3月とする。

取り組み項目		単位	基準年度 2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
削減率		%	-	前年度比-1%	前年度比-1%	前年度比-1%
廃棄物削減						
廃プラスチック	総量	kg	7,070.0	6,999.3	6,929.3	6,860.0
	原単位	kg/百万円	2.719	2.692	2.665	2.638
廃液(含油廃水)	総量	kg	28,683	28,396	28,112	27,831
	原単位	kg/百万円	11.032	10.922	10.812	10.704
OA用紙の削減						
OA用紙使用量 製造部	総量	kg	289	286	283	280
OA用紙使用量 工機部	総量	kg	181	179	178	176
水使用量の削減						
水使用量 全社	総量	m ³	1,398	1,384	1,370	1,356
化学物質の管理						
プライコート1300AT	総量	kg	528	顧客から塗装の仕様が指定されており 実績値把握・適正管理とする。		
ラッカーシンナー	総量	kg	288			
サービスの改善（実績管理とする）						
環境美化活動	参加率	%	100	←	←	←
工程の見直し	件	件	12	←	←	←
客先不具合	件	件	3(3+0)	各年度の「客先不具合件数」目標に準ずる。		

* 2021年度の売上高は2600百万円です。

* 化学物質に関してはPRTR対象物質（トルエンなど）含有品とします。

* 環境美化運動は6月と9月の活動参加率をさします。

* 工程の見直しとは手作業の自動化や自動ラインへの製品取り込み等、生産性向上に関するものを主に対象とします（目標1件/月）。

* 客先不具合件数は「全社件数（製造部件数+工機部件数）」で記入しています。

5-2 ①環境経営目標（中期目標含む） ーエネルギー関連分ー

作成日：2025年6月2日

今までの実績データ等を加味し2024年度を基準に2025年度から2027年度は取組む。各年度は4月～3月とする。

取り組み項目		単位	基準年度 2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
削減率		%	-	前年度比-1%	前年度比-1%	前年度比-1%
二酸化炭素排出量の削減						
CO ₂ 総排出量 全社	総量	kg-CO ₂	1,651,472	1,634,957	1,618,608	1,602,422
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	396	392	389	385
電気使用量 製造部	総量	kWh	3,481,315	3,446,502	3,412,037	3,377,916
	原単位	kWh/百万円	836	827	819	811
電気使用量 工機部	総量	kWh	372,825	369,097	365,406	361,752
	原単位	kWh/百万円	89.492	88.597	87.711	86.834
ガソリン使用量 製造部	総量	ℓ	520	515	510	505
	原単位	ℓ/百万円	0.125	0.124	0.122	0.121
ガソリン使用量 工機部	総量	ℓ	2,130	2,108	2,087	2,066
	原単位	ℓ/百万円	0.511	0.506	0.501	0.496
オートガス使用量 製造部	総量	kg	765	-	-	-
	原単位	kg/百万円	0.184	-	-	-

* 電力の排出係数は2019年度中部電力の調整後係数 0.426kgCO₂/kWhとします。

* 2024年度の売上高は4166百万円です。

* オートガスは少量のため、実績値管理はしますが目標値管理はしません。

* 2024年7月よりオートガス廃止のため、2025年度の目標値は記載しません。

5-2 ②環境経営目標（中期目標含む） －エネルギー関連分以外－

作成日：2025年6月2日

今までの実績データ等を加味し2024年度を基準に2025年度から2027年度は取組む。各年度は4月～3月とする。

取り組み項目		単位	基準年度 2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
削減率		%	-	前年度比-1%	前年度比-1%	前年度比-1%
廃棄物削減						
廃プラスチック	総量	kg	15,872.5	15,713.8	15,556.6	15,401.1
	原単位	kg/百万円	3.810	3.772	3.734	3.697
廃液(含油廃水)	総量	kg	46,314	45,851	45,392	44,938
	原単位	kg/百万円	11.117	11.006	10.896	10.787
OA用紙の削減						
OA用紙使用量 製造部	総量	kg	268	266	263	260
OA用紙使用量 工機部	総量	kg	151	149	148	146
水使用量の削減						
水使用量 全社	総量	m ³	1,504	1,489	1,474	1,459
化学物質の管理						
プライコート1300AT	総量	kg	656	顧客から塗装の仕様が指定されており 実績値把握・適正管理とする。		
ラッカーシンナー	総量	kg	251			
サービスの改善（実績管理とする）						
環境美化活動	参加率	%	100	←	←	←
工程の見直し	件	件	12	←	←	←
客先不具合	件	件	5(3+2)	各年度の「客先不具合件数」目標に準ずる。		

* 化学物質に関してはPRTR対象物質（トルエンなど）含有品とします。

* 環境美化運動は6月と9月の活動参加率をさします。

* 工程の見直しとは手作業の自動化や自動ラインへの製品取り込み等、生産性向上に関するものを主に対象とします（目標1件/月）。

* 客先不具合件数は「全社件数（製造部件数+工機部件数）」で記入しています。

6 環境経営計画 (2024年度：2024年4月～2025年3月)

○：計画 ●実施結果→8.計画実施結果に記す

取組項目	取組内容	スケジュール													評価	担当
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
C O 2 の 削 減	電力使用量の低減	こまめな節電・消灯の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		製造・工機・事務
		デマンド計による電力使用量の監視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		製造・事務
		コンプレッサの昼休み時間稼働の停止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		製造
		蛍光灯のLED化	○						○							保全
		工程内不良低減による生産負荷時間低減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		製造・保全
		出来高向上による生産負荷時間低減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		製造・保全
	化石燃料使用量の低減・ガソリン	社有車燃料調査と運転指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		事務局
		アイドリングストップの周知徹底	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		事務局
		切削油濾過装置活用による更油延長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		製造
		休憩時間中の冷暖房器具OFF化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		製造・工機・事務
廃棄物 ・産業廃棄物 ・廃液・汚泥	油倉庫の保管量及び表示見直し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		製造	
	廃棄物等管理手順の見直し改訂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		事務局	
	更油延長による廃液処理費低減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		製造	
	段ボール、コピー用紙のリサイクル化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		製造・工機・事務	
水	処理業者の視察（年次点検）			○											事務局	
	省エネ、省資源手順書見直し改訂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		事務局	
	節水の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		製造・工機・事務	
	水使用量の定期点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		事務局	
そ の 他	その他活動	グリーン購入の促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		事務局	
		関連法規の見直し遵守	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		事務局	
	・環境美化	地区清掃活動への参加（環境美化活動）			○			○							製造・工機・事務	
		交通安全立哨活動	○			○					○				製造・工機・事務	
	・法令順守	緊急避難・消火訓練（被災者養育含む）								○					製造・工機・事務	
		油流出処置訓練								○					製造・工機・事務	
	・緊急避難 など	環境経営レポート更新			○										事務局	
		エコアクション21環境改善会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全部署
	エコアクション21審査				○									事務局		
環境管理責任者コメント		8.計画実施結果に記す							←					←		
最高環境管理責任者コメント		8.計画実施結果に記す							←					←		

7 ①環境経営目標実績と評価 ーエネルギー関連分ー

作成日：2025年6月2日

今までの実績データ等を加味し2021年度を基準に2022年度から2024年度は取組む。各年度は4月～3月とする。

取り組み項目		単位	基準年度 2021年度	2024年度 目標	2024年度 実績	評価
削減率		%	-	基準年度より 毎年度-1%		
二酸化炭素排出量の削減						
CO ₂ 総排出量 全社	総量	kg-CO ₂	1,425,487	1,382,722	1,651,472	×
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	582	565	396	○
電気使用量 製造部	総量	kWh	2,841,126	2,755,892	3,481,315	×
	原単位	kWh/百万円	1,160	1,125	836	○
電気使用量 工機部	総量	kWh	427,858	415,022	372,825	○
	原単位	kWh/百万円	175	169	89	○
ガソリン使用量 製造部	総量	ℓ	415	403	520	×
	原単位	ℓ/百万円	0.169	0.164	0.125	○
ガソリン使用量 工機部	総量	ℓ	3,384	3,283	2,130	○
	原単位	ℓ/百万円	1.381	1.340	0.511	○
オートガス使用量 製造部	総量	kg	7,380	7,159	765	○
	原単位	kg/百万円	3.012	2.923	0.184	○

* 電力の排出係数は2019年度中部電力の調整後係数 0.426kgCO₂/kWhとします。

* 2021年度の売上高は2600百万円、2024年度の売上高は4166百万円です。

7 ②環境経営目標実績と評価 ーエネルギー関連分以外ー

作成日：2025年6月2日

今までの実績データ等を加味し2021年度を基準に2022年度から2024年度は取組む。各年度は4月～3月とする。

取り組み項目		単位	基準年度 2021年度	2024年度 目標	2024年度 実績	評価
削減率		%	-	-3%		
廃棄物削減						
廃プラスチック	総量	kg	7,070.0	6,858	16,432.5	×
	原単位	kg/百万円	2.886	2.800	3.944	×
廃液(含油廃水)	総量	kg	28,683	27,823	46,314	×
	原単位	kg/百万円	11.707	11.360	11.117	○
OA用紙の削減						
OA用紙使用量 製造部	総量	kg	289	280	268	○
OA用紙使用量 工機部	総量	kg	181	176	151	○
水使用量の削減						
水使用量 全社	総量	m ³	1,398	1,356	1,504	×
化学物質の管理（顧客から塗装の使用が指定されており実績値把握・適正管理とする。）						
プライコート1300AT	総量	kg	528	適正管理	656	-
ラッカーシンナー	総量	kg	288		251	
環境美化（実績管理とする）						
環境美化活動	参加率	%	100	100	100	-
工程の見直し	件	件	12	12	12	
客先不具合	件	件	3(3+0)	「客先不具合件数」 目標に準ずる。	3(3+2)	

* 2021年度の売上高は2600百万円です。

* 化学物質に関してはPRTR対象物質（トルエンなど）含有品とします。

* 環境美化運動は6月と9月の活動参加率をさします。

* 工程の見直しとは手作業の自動化や自動ラインへの製品取り込み等、生産性向上に関するものを主に対象とします（目標1件/月）。

* 客先不具合件数は「全社件数（製造部件数+工機部件数）」で記入しています。

8 環境経営計画の実施結果 (2024年度：2024年4月～2025年3月)

●：実施 ×：未実施

取組項目	取組内容	スケジュール													評価	担当
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
CO2の削減	電力使用量の低減	こまめな節電・消灯の実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	製造・工機・事務
		デマンド計による電力使用量の監視	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	製造・事務
		コンプレッサの昼休み時間稼働の停止	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	製造
		蛍光灯のLED化	●						●						○	保全
		工程内不良低減による生産負荷時間低減	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	製造・保全
		出来高向上による生産負荷時間低減	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	製造・保全
	化石燃料使用量の低減・ガソリン	社有車燃料調査と運転指導	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	事務局
		アイドリングストップの周知徹底	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	事務局
		切削油濾過装置活用による更油延長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	製造
		休憩時間中の冷暖房器具OFF化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	製造・工機・事務
		油倉庫の保管量及び表示見直し	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	製造
		廃棄物の排出量低減	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	事務局
廃棄物 ・産業廃棄物 ・廃液・汚泥	更油延長による廃液処理費低減	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	製造	
	段ボール、コピー用紙のリサイクル化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	製造・工機・事務	
	処理業者の視察（年次点検）				●									○	事務局	
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	事務局	
水	水使用量の削減	省エネ、省資源手順書見直し改訂	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	事務局	
		節水の実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	製造・工機・事務	
		水使用量の定期点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	事務局	
その他	その他活動 ・環境美化 ・法令順守 ・緊急避難 など	関連法規の見直し遵守	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	事務局	
		地区清掃活動への参加（環境美化活動）			●			●						○	製造・工機・事務	
		交通安全立哨活動	●			●		●			●				○	製造・工機・事務
		緊急避難・消火訓練（被災者養育含む）										●			○	製造・工機・事務
		油流出処置訓練							×						×	製造・工機・事務
		環境経営レポート更新			●										○	事務局
		エコアクション2.1環境改善会議	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	全部署
エコアクション2.1審査				●									○	事務局		
環境管理責任者コメント		CO2排出量のほとんどを占める電力の省エネ活動を、モデルラインを設定して行い、設備ごとの範囲まで切り込んだ省電力化が進められた。												【次年度に向けて】 繰り返しになるが、 実施した事項の見直し を再度行う。		
最高環境管理責任者コメント		計画的に進めることができた。														

9. 環境経営目標と計画の結果と評価、並びに次年度の目標・計画

二酸化炭素排出量の削減（電気、ガソリン、オートガス等の使用量）		
	結果と評価	次年度目標・計画
製造部	モデルラインを設定し、集中した省電力活動を進めた結果、当ラインの製品1個あたり使用電力量を25%削減できた。 オートガスリフトを電気リフトに更新し、オートガスを廃止した。	モデルラインで行った省電力対策を他ラインに順次展開し、全体での製品1個あたり電力使用量を▲2.1%削減を目指す。
工機部	一番要因の電力使用量を削減するため、空調・夜間電力断に努め、ガソリンの使用も効率を重視し、エアコンの使用も控えた。	大きなところの対策はある程度進んだので、細かな照明、待機電力にさらなる対策を行う。

廃棄物の削減、OA用紙の削減、水使用量の削減 など		
	結果と評価	次年度目標・計画
製造部	使用量の多い切削液について、液の劣化状況をみながら更液することで廃棄量の削減に努めた。	固形物の産業廃棄物に対し削減活動が弱くなっていたため、量の多い廃ウエス再利用の対策を進め、産業廃棄物削減を進める。
工機部	昨年より増加傾向のOA用紙の削減に努めるため、5年を経過したエビデンス（図面）の再利用及び裏紙利用に努めた。	今期はさらに客先の図面レス化が進むため、OA用紙の増加が見込まれる。さらなる削減の必要性から、プリントを極力抑える対策を進める。

その他の活動		
事務局	環境美化活動の一環で花の植栽。年2回の前林地区清掃活動への参加。ゴミの分別・節電・節水の呼びかけ。環境リスクの点検。月次で環境データを更新し、社内の環境委員会にて評価・フィードバック。	
製造部	新しい技術や資材の見直し、職場内のムダの排除を進め、環境負荷低減を図る。	
工機部	仕事量や仕事の中身の変化が激しい中で、原単位を上げるための営業努力、現場の効率化を進める。	

なお次年度以降の目標値については5.環境経営目標①②（中期目標含む）に示す。

10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

当社では、環境関連法規に対する違反・訴訟及び苦情なども創業以来ありません。

環境関連法令名	内容	判断基準	関係設備	対応	評価日	評価
浄化槽法	浄化槽の維持・管理	小型浄化槽設置	主にトイレ	設置届 定期清掃(業者) 法定検査(指定機 関)	25年 3/末	○
騒音規制法	圧縮機、排風機等設置	空気圧縮機、排風機 送風機設備3.75kw以上	主にコンプ レッサー	設置届	25年 3/末	○
振動規制法	振動発生施設設置	空気圧縮機、排風機 送風機設備3.75kw以上	主にコンプ レッサー	設置届	25年 3/末	○
消防法	少量危険物の所有	油倉庫に表示を掲示	主に油倉庫	危険物保管庫表 示、火気厳禁表 示	25年 3/末	○
環境保全（豊田市の環境を守り育てる条例）	アイドリングストップの 促進	車使用時 アイドリングス トップ実行の周知	社用車 トラック	ステッカー掲示	25年 3/末	○
7n類の使用の合理化及び管理の 適正化に関する法律(7n排出抑制 法)	業務用エアコン使用	エアコン設置 エアコン廃棄	主にエアコン	簡易点検 定期点検(業者) フロン回収(業者依 頼)、証明書保管	25年 3/末	○
廃棄物の適正な処理の促進に関す る条例（豊田市）	廃棄物の適正処理	産業廃棄物排出	廃棄物保管場 所へかんばん 表示	業者との契約、 処理場現地確認	25年 3/末	○
廃棄物処理法	排出・処理業者	収集運搬処理 産廃排出事業者	廃棄物保管場 所へかんばん 表示	産業廃棄物管理票交付 等状況報告書を次年度 6月までに提出 業者との契約、処理場 現地確認	25年 3/末	○
工場土地法	総敷地面積13,277㎡	敷地面積9,000㎡以上	全建物	工場土地法届	25年 3/末	○
家電リサイクル法	業務用エアコン 一般家電製品	一般家電製品設置	事務所 休憩室等	処理時、伝 票を保管	25年 3/末	○
省エネ法	エネルギー使用量 (1,500kl以上に限る)	エネルギー使用量	—	エネルギー使用量 1,500kl以上で要 届出	25年 3/末	○
水質汚濁防止法	油水分離槽の設置	事故時に対応	—	敷地内設置	25年 3/末	○
P R T R 法	特定の化学物質を 取り扱う	1年間に取り扱う第一種指 定化学物質質量1 t 以上	主に油倉庫	一定量を超え た場合要届出	25年 3/末	○
グリーン購入法	環境物品の調達推進	主に文房具類	事務所・休憩室等	購入の推進	25年 3/末	○
小型家電リサイクル法	電子機器、その他 電気機械器具	電子機器、電気機械器具	主に保全場 事務所	分別して排出	25年 3/末	○
P C B 廃棄物特措法	人体に有害なPCB廃棄物 の所有	厳重に保管の義務 2027年 3月31日までに処分	変圧器 安定器	変圧機：処理済 安定器：処理済	25年 3/末	○

※その他の環境関連要求事項に該当する項目はありません。

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

①社長に年1回、環境マネジメントシステムを見直していただく。

②見直しに必要な下記の資料・情報を収集し、環境管理責任者が社長に報告する。

検討評価	評価資料及び情報	評価	評価コメント
エコアクション21文書	提出記録	○	計画通り実施。
	提出文書		
環境目標及び 目標達成状況	環境改善会議の議事録	△	仕事量の大幅増加に伴い、 水使用量と産業廃棄物の量が増 加し目標未達となった。
	関係報告書		
環境活動計画及び取り組み実施状況	月1回の環境改善会議を通じてその進捗や 問題点の有無	○	計画通り実施。
環境関連法規要求一覧及び遵守状況	法規・その他要求事項	○	計画通り実施。
	測定結果データ		
	委託測定結果データ		
外部コミュニケーション、対応記録	外部より是正・予防報告書	○	計画通り実施。
	その他		
問題点の是正・予防措置の実施状況	是正・予防報告書	○	計画通り実施。
	手順書、計画表等の改訂状況		
	環境活動計画/取組実績・評価結果進捗状況		
	環境改善会議の議事録		
取引先、業界、関係行政機関、その他外 部動向	社内の製品、事業、業務、組織の変化	○	計画通り実施。
	顧客の環境に関する動向		
	業界・同業他社・社会の環境に対する動向		
経営的見地	部長の見解	○	計画通り実施。

社長は上記報告結果を考慮し、方針、目標及び環境活動計画、その他の変更の必要性を
明確にします。

社長言及項目	変更の有無	理由・内容について
環境方針の変更	有 ・ (無)	
環境活動組織の変更	有 ・ (無)	
環境目標の変更	有 ・ (無)	
環境活動計画の変更	有 ・ (無)	
その他	有 ・ (無)	
社長のコメント (総括・指示事項)	仕事量に変動はあったが、概ね計画通りに実施できた。	